



社協 かくだ



この広報誌は、皆様からいただいております会費と赤い羽根共同募金の配分により作成いたしました



毎週水曜日に
みんなで集まって、
ワイワイするのが
とっても楽しみ!



青空の下で体操、笑顔でおしゃべり、これが健康の秘訣です

毎週水曜日9時から岡公民館で行われている体操。ストレッチ体操・ラジオ体操第一・脳トレ体操・手ぬぐい体操(北国の春)と盛りだくさんの体操を終えた後は、ベンチにておしゃべりタイム。始まる前から帰るまで笑い声が絶えないみなさんです。

皆様の地域の活動を教えてください、情報をお待ちしています

■ 主な内容 ■

- 令和4年度事業報告及び収支決算 …… 2頁
- 令和5年度事業計画及び収支予算
社協の事業について …… 3頁
- 社協会費のお願い …… 4頁
- 第2期角田市地域福祉活動計画(概要版) …… 5~6頁
- 夏休みふくし体験のお知らせ …… 7頁
- 寄付者のご紹介
角田市障害者就労支援施設のぎく …… 8頁

令和4年度角田市社会福祉協議会事業報告及び収支決算

主な事業のまとめ(概要)

1. 角田市社会福祉協議会では「地域福祉活動計画」の「自分らしく生きるために、みんなで支え合う地域づくりを進めていこう」を基本理念に事業を推進し、併せて「自分らしく生き、ともに助け合い活かし合う地域づくりを進めていこう」を基本理念とした令和5年度からの「第2期地域福祉活動計画」を策定しました。
2. 地域ささえあい事業では、被災された世帯や、子どもの出生世帯への支援、さらに高齢者サロン活動等の新しいまちづくり事業への支援だけでなく、新たに80歳以上の実質ひとり暮らし高齢者を対象に、市内の中高生の描いた絵手紙を送り、孤独感の解消を図る「地域ささえあい絵手紙事業」を実施しました。また、生活困窮者世帯への支援の一環としてフードバンク事業も実施しました。
3. 共同募金運動では、コロナ禍ということで街頭募金は実施せず、店舗募金を増やして行うなど、市民の方々、企業、学校、職場など多くの方々の協力を得ることができました。
4. 地域ふれあい事業では、サロン活動を支援するため、レクリエーション用具を充実させて、サロングループの育成・支援に努めてきました。また、令和4年12月14日に角田市シルバー人材センターと協働で「つどいの場アンテナショップ憩」を開所し、“誰もが集える居場所”として運営を始めました。
5. 新型コロナウイルス感染症の影響で、減収や雇止めなどで生活困窮された世帯に緊急小口資金及び総合支援資金の貸付業務を行い、支援をしてきましたが、令和4年9月30日をもって終了となりました。
6. 令和4年3月16日福島県沖地震による災害対応で、角田市災害ボランティアセンターを3月17日から同年4月7日まで設置しその後、通常のボランティアセンターで対応しました。

▶ 収入

単位：円

項目	金額
会費収入	3,570,900
寄付金収入	1,292,163
経常経費補助金収入	24,446,049
赤い羽根共同募金収入	2,313,133
歳末たすけあい配分金収入	2,758,530
災害等準備金収入	1,000,000
受託金収入	77,232,156
貸付事業収入	141,000
事業収入	252,300
負担金収入	169,500
就労支援事業収入	2,698,578
障害福祉サービス等事業収入	22,739,780
受取利息配当金収入	624
その他の収入	762,590
その他の活動収入	7,048,560
繰越金	13,590,450
収入合計	160,016,313

▶ 支出

単位：円

項目	金額
法人運営事業	25,488,270
広報・啓発事業	918,094
団体等育成事業	414,150
地域福祉活動事業 ()は内訳 (敬老の集い・百歳高齢者祝) (視覚障害者広報) (ブックスタート・フードバンク) (地域ささえあい)	2,956,426
在宅福祉活動事業 ()は内訳 (日常生活用具貸与) (福祉自動車送迎サービス)	469,531
ボランティアセンター事業	1,113,971
受託事業 ()は内訳 (生きがいデイサービス) (生きがい健康づくり(椿の湯)) (福祉サービス利用援助) (生活支援体制整備) (放課後児童クラブ)	67,774,431
資金貸付事業	261,656
障害者就労支援施設のぎく事業	35,094,914
返還金(補助金等)	8,322,119
支出合計	142,813,562
繰越金	17,202,751



地域福祉フォーラム開催 令和4年10月開催

ご近所福祉クリエーターの酒井保氏を講師として、フレイル予防などについてお話いただき、当日は100名を超える市民の皆様の参加がありました。

地域ささえあい事業の配分実績(令和4年度)

事業名	子育て支援金	災害見舞金※		新たなまちづくり事業支援
		火災全焼	火災半焼	
申請者数	97名	4件	1件	6件
配分金額	485,000 (5,000円×97名)	90,000円 (20,000円×4名、10,000円×1名)		60,000円 (10,000円×6名)

令和4年4月1日～令和5年3月31日までの申請分

※災害見舞金の適応は、災害救助法が適用になるような大規模災害は対象になりません。

令和5年度角田市社会福祉協議会事業計画及び収支予算

重点目標

1. 地域福祉活動計画の推進
2. 社会福祉に関する活動への住民参加のための支援
3. 子育て支援事業の推進
4. 小地域福祉活動の推進
5. ボランティア育成・推進と災害対応
6. 組織体制の強化と財源健全化



ブックスタート事業

収入総額 135,270千円

〈単位：千円〉

支出総額 135,270千円

〈単位：千円〉

収入内訳	金額	収入内訳	金額	支出内訳	金額	支出内訳	金額
会費収入	3,527	受取利息配当金収入	6	法人運営事業	29,537 (2,870)	資金貸付事業	3,480
寄附金収入	208	その他の収入	20	広報・啓発事業	1,265 (200)(800)	障害者就労支援 施設のぎく事業	28,609
補助金収入 (共同募金配分金収入)	29,432 (5,013)	積立預金取崩収入	802	助成事業	525 (300)		
受託金収入	67,030	サービス区分間 繰入金収入	1,067	地域福祉活動事業	5,188 (407)(3,170)		
貸付事業収入	1,266	繰越金	4,378	在宅福祉活動事業	1,080 (300)		
事業収入	250	就労支援事業収入	3,300	ボランティアセンター事業	378 (50)(190)		
負担金収入	220	障害福祉サービス 等事業収入	23,764	受託事業	65,208		



※ () 会費配分
〔 〕 共同募金配分 予定額

角田市社会福祉協議会の主な事業について

住民参加支援(広報活動)

- 広報紙「社協かくた」発行(4月・7月・1月の年3回発行)
- ホームページの活用
ホームページの充実と、情報発信。

住民参加支援(生活福祉活動)

- 生活援助の推進
歳末たすけあい運動の支援と配分、生活福祉資金・生活安定資金の貸付業務、日常生活自立支援事業(まもりーぶ事業)の支援、フードバンク事業、地域ささえあい事業
- 共同募金等の推進
歳末たすけあい運動の配分業務、共同募金会
災害見舞金贈呈事業の事務支援
- 高齢者福祉活動の推進
高齢者等日常生活用具貸与事業(車椅子・特殊寝台)、高齢者等福祉自動車送迎サービス事業、敬老の集い事業の支援、老人クラブ活動の支援、地域ささえあい絵手紙事業
- 障害者福祉の推進
障害者用日常生活用具貸与事業・障害者用福祉自動車送迎サービス、事業等の実施、視覚障害者用広報CDの録音作成と無料配布、障害者交流事業の支援、障害者福祉団体活動の支援



子育て支援事業

- 児童福祉活動の推進
ブックスタート事業の実施、子育て支援事業の実施、子ども会育成会活動の支援



災害ボランティアセンター体制整備とボランティア育成・活動事業

- 災害ボランティアセンターとボランティア活動事業の推進
災害ボランティアセンターの体制整備を図る(災害等非常時に備え、平常時から災害ボランティアセンターの設置訓練、防災意識向上を目指した研修会の開催)
地域防災組織・団体活動の支援、ボランティアセンター事業の推進、ボランティア活動指導者の育成、ボランティア養成講座の開催
- 福祉・防災教育の推進
福祉推進事業による福祉啓発及び活動普及の支援、小・中・高校生の福祉体験学習の実施、防災教育の推進

小地域福祉活動

- 地域福祉活動の推進
地域ふれあい事業の支援(運営助成金・レクリエーション用具の貸し出し・サロン活動に携わるボランティアの研修等)
地区社協活動の活性化及び各種福祉団体活動の支援
- 「つどいの場アンテナショップ憩」の運営

指定管理事業・受託事業

- 指定管理事業施設経営
角田市障害者就労支援施設のぎく(就労継続支援B型)の管理経営
- 受託業務
角田市生活支援体制整備事業・角田市生きがいデイサービス事業・生きがい健康づくり事業(椿の湯)
放課後児童クラブの管理運営(横倉児童クラブ、金津児童クラブ、桜児童クラブ、北郷児童クラブ)



皆様の思いやりの心で支えられています

社会福祉協議会とは

住民と公私の社会福祉関係者によって組織され、住民主体の理念に基づき、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことができる社会の実現を目指して活動する社会福祉法人です。社会福祉法に基づき、地域福祉の推進を図る中核的な団体として、全国のすべての市区町村、都道府県に設置されています。



社会福祉協議会は、地域福祉の推進を地域住民とともに図っていくことを目的とした公共性・公益性の高い社会福祉団体です。

みなさまからお預かりした社協会費は、地域福祉活動事業、サロン活動や福祉教育の普及推進、ボランティア活動や福祉団体の支援など、住民のニーズに沿った福祉推進を支える貴重な財源として活用させていただいております。

社会福祉協議会が自由に独自の事業に振り向けられる一般財源としては、約875万円ほどですが、そのうち社協会費は約353万円ほどで、大変貴重な財源となっております。

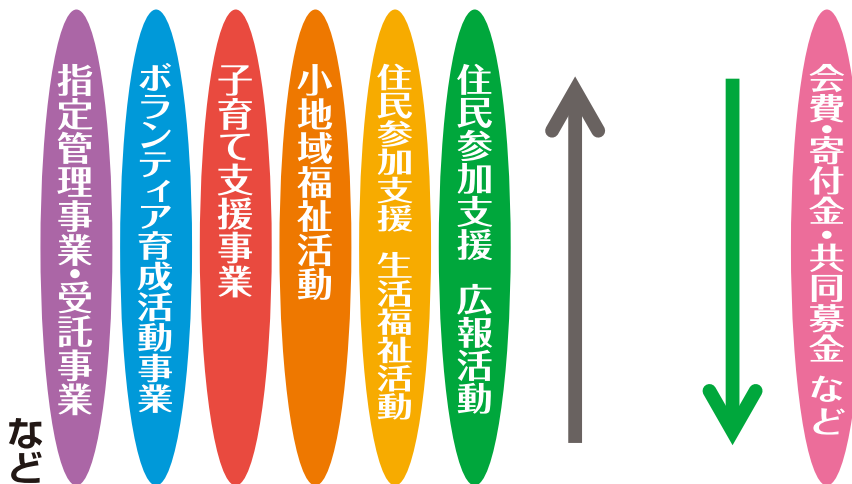
令和5年度 社協会費

普通会費（世帯及び個人）
1□ 300円

賛助会費（個人）
1□ 2,000円

特別会費（団体等）
1□ 2,000円

市 民



社協の財源

会費
寄付金
利用料・負担金
赤い羽根共同募金
歳末たすけあい募金
補助金・受託金
指定管理料

住民や福祉関係団体をはじめ企業等の協力で支えられています。

社会福祉
法人

角田市社会福祉協議会

【第2期角田市地域福祉活動計画】

(令和5年度～令和9年度)を策定いたしました



※詳しい冊子はホームページからご覧になれます。>>



概要版

基本理念「自分らしく生き、ともに助け合い活かし合う地域づくりを進めていこう」

【地域福祉活動計画について】

地域福祉活動計画は、角田市の「地域福祉計画」を基に、角田市民のみなさん、地域コミュニティ、ボランティア、福祉サービス事業者、行政などが連携し「地域の助け合いによる福祉」を計画的に推進するための行動計画です。

【地域福祉の推進に向けた主な取り組みについて】

推進目標 1：地域福祉を身近に感じ取れるような取り組みを進めていこう

●社協としての取り組み

障害や認知症等、支援を必要とする方々へ、今後どのような支援が必要なのか、実態を把握しながら住民向けのフォーラムや研修等を実施し、地域福祉をより身近に感じられる環境作りを目指します。

●一緒に取り組みましょう

福祉とは「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」と捉えています。それを実現させるためにも、地域の人々との交流、普段からの声かけ、あいさつなどから身近なつながりを広めましょう。

推進目標 2：福祉活動に参加しやすい環境づくりを進めていこう

●社協としての取り組み

ボランティア育成や支援を一層充実させるため、障害者就労支援施設「のぎく」や、高齢者福祉事業の生きがいデイサービス、子ども福祉活動事業である放課後児童クラブにおいてボランティア活動を推進し、小中高生向けにボランティア育成をしていきます。

●一緒に取り組みましょう

空いている時間を使って、ちょこっとボランティアを始めてみましょう。(のぎく、生きがいデイサービス、放課後児童クラブで無理のない時間でのボランティア)

推進目標 3：地域で取り組まれている福祉活動を支援していこう

●社協としての取り組み

生活支援体制整備事業の取り組みとして、生活支援コーディネーターが継続して地域を回り、日常生活で地域の人に手助けしてもらうことや住民の生活課題等を把握していきます。

●一緒に取り組みましょう

自分の住んでいる行政区や地区で実施しているイベント等(防災訓練や公園の清掃、花壇づくり等)に積極的に参加してみましょう。



【第2期角田市地域福祉活動計画】(令和5年度～令和9年度)を策定いたしました



推進目標 4：地域での担い手(ボランティアも含む)づくりと支え合い 活かし合っていくための役割づくりを進めていこう

●社協としての取り組み

災害時等に市民への近助・互助・共助を活かしたボランティアセンターの強化・PR(様々な団体や関係機関との連携)を進め、誰もが役割を持った活動を展開できるようにします。

●一緒に取り組みましょう

小、中、高校生等の若い人たちが、気軽にできるボランティア活動(話し相手等)をきっかけとして、地域の行事(スポーツ大会、お祭り等)等に積極的に参加してみましょ。

推進目標 5：福祉や防災を切り口とした、学びの場を推進していこう

●社協としての取り組み

東日本大震災での経験を活かして、自助を育む取り組みを進めていきます。(災害ボランティア活動や、身につける防災等)若い世代への防災意識を高める取り組みも行います。



●一緒に取り組みましょう

緊急時に支え合っていくために、日々の生活から自助・近助・互助・共助・公助について意識し、隣近所同士の声掛けや、助け合いの関係性を作っていくましょ。



推進目標 6：包括的な支援体制を充実させていこう

●社協としての取り組み

地域支え合いに関する情報をホームページ等で掲載し、サロン活動やボランティア団体等の地域資源を把握して、顔の見える関係性を作ります。

●一緒に取り組みましょう

地域における課題や情報を共有し、連携強化の交流の場(おしゃべり会、座談会等)を開催し、地域みんなで地域福祉の促進を考える機会を作っていくましょ。

推進目標 7：社協の地域福祉活動を知ってもらうための取り組みや基盤強化を進めていこう

●社協としての取り組み

地域福祉活動の大切な財源となる社協会費や共同募金(赤い羽根・歳末たすけあい)がこれからも維持できるよう、使途の明示等を理解しやすいように工夫していきます。

●一緒に取り組みましょう

アンケートで「地域福祉に関するボランティアやNPO活動」について、関心があると答えた方が5割を超えていたので、情報をうまく入手しながら、地域活動に参加してみましょ。

推進目標 8：他機関連携による、ネットワークの構築を図っていこう

●社協としての取り組み

企業や学校等、これまでつながりの弱かった層へ「防災」等、関わりやすいテーマを切り口とした研修や体験を計画し、連携強化を図っていきます。

●一緒に取り組みましょう

アンケートでは、地域の支え合いの支援として「日頃の見守り、安否確認の体制」が最も多い結果となりました。一人一人が地域や家族等身近な困りごとの気づきに努めましょ。

■ 視覚障害者広報事業

角田市社会福祉協議会では、障害者福祉支援事業として毎月1日に発行される「広報かくだ」を編集し、音訳広報ボランティアグループの協力を得てCDに録音をしています。CD広報は、盲人用郵便を利用し希望する市内の目の不自由な方に情報を提供しています。



声の広報をお届けしています。

■ 福祉自動車送迎サービス事業

利用対象者：角田市に住所があり車椅子等を利用しないと歩行が難しい方で、公共交通機関の利用が困難な介護保険制度での要介護者、または身体障害者手帳保持者の方に、**福祉車両(車イス仕様)**で送迎のお手伝いをいたします。運転のみとなり、付き添いは家族等でお願ひします。



送迎範囲：角田市を発着地とする4市9町(名取市・岩沼市・白石市・柴田町・大河原町・村田町・川崎町・丸森町・蔵王町・七ヶ宿町・亘理町・山元町・角田市) **ただし、医療機関・公共施設への利用に限ります。**

利用対象者	運営協力費(契約時)
個人	年間 5,000円
障害者団体等	年間 6,000円

令和5年度より料金に変更となりました。運賃、待機料はかかりません。

令和5年度 夏休みふくし体験inかくだ 参加者募集中!

夏休みの自主学習として、福祉を体験してみませんか?

参加費無料

問合せ☎: 0224-63-0055
(角田市社会福祉協議会)

小学生 福祉体験参加募集

日時:令和5年**7月27日(木)** 9時30分～11時30分 **まってるワン!**
 場所:角田市市民センター 2階201会議室
 内容:**盲導犬とふれあおう! 点字をまなぼう!**
 対象者 :小学6年生(市内に住所を有する方)
 募集人数:20名(先着順とします)
 申込期間:7月3日(月)～7月21日(金)まで
 申込方法:学校で配付される申込書を記入し、
 社会福祉協議会へ直接お越しください。(平日8:30～17:00)
 ※申込書は社会福祉協議会窓口にもあります。



中学生・高校生 福祉ボランティア参加募集

A コース:子どもとふれあうのが好きな方大歓迎

日時:令和5年**7月31日(月)～8月4日(金)**
 ①9時30分～11時30分 または
 ②14時00分～16時00分
 場所:横倉児童クラブ、金津児童クラブ、桜児童クラブ、
 北郷児童クラブのいずれか1クラブ
 ※それぞれの小学校内で運営しています。
 内容:**学童保育を体験しよう!**
小学生の遊びや学びをサポート!



B コース:障害者就労支援施設でのお仕事サポート

日時:令和5年**7月31日(月)～8月4日(金)**
 ①9時30分～12時00分 または
 ②13時00分～15時30分
 場所:角田市障害者就労支援施設のぎく
 (ウエルパーク北側)
 内容:**製品づくり体験や
 施設のお仕事補助**



上記のうち希望日をご相談ください。時間は施設により異なります。

○対象者:中学1年生～高校3年生(市内に住所を有する方、または通学している方)

○募集人数:1クラブ、施設、1日5名まで(先着順とします)

○申込期間:7月3日(月)～7月21日(金)まで ○申込方法:社会福祉協議会へお電話ください。(平日8:30～17:00)

やさしい善意をありがとうございました

快気祝・チャリティ収益金・同好者の会・香典返し、その他で福祉事業に役立ててほしいとご寄付をいただきました。
(令和5年3月16日から令和5年6月15日まで)

個人

- 穴戸 隆明 様 (のぎく事業へ/丸森町在住)
- 匿名 希望 様 (3件)

企業・団体

- フローラアクティブサポート 様
- 集い語らいの場なごみ 様
- 歌謡カラオケ新栄会 様

企業・団体

- (株)サン・ベンディング東北 様 (毎月)
- みやぎ仙南農業協同組合 様 (毎月)
- JAみやぎ仙南加工販売課 様 (毎月)
- イケダ工機(株)角田工場 様 (毎月)
- 窪田電気工事(株) 様 (毎月)
- 北斗納税貯蓄組合 様

角田市障害者就労支援施設 のぎく

のぎくでは現在28名の利用者の登録があり毎日元気に通所しております。今年度は、これまで自粛しておりました花見や研修旅行などのイベントも徐々に再開している状況です。「憩」の従事作業の活動の機会もいただき、地域の皆様との交流の機会が増えたことも、通所する楽しみのひとつとなっているようです。これからも真心こめて一つ一つ製品作りに励んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



絵画と絵本をご寄付いただきました!

柴田町在住の絵本作家の沓澤小波さんより絵本と絵画のご寄付をいただきました。ピアニストのフジコ・ヘミングさんとの親交が深い沓澤さんは、ヘミングさんのコンサート衣装を手掛けたり、沓澤さんの絵本「青い玉」ではヘミングさんが挿絵を描かれています。一昨年は、ヘミングさんの舞台衣装をホールに展示し、『のぎく てしごと展』を同時開催させていただき、のぎくの活動にも大変ご協力をいただいております。今回は、絵画「USAディズニーパーク」と絵本「青い玉」40冊をのぎくの活動に役立ててほしいとご寄付をいただきました。絵画「USAディズニーパーク」はのぎく所内に展示しておりますので、皆様どうぞのぎくにお越しください。



あぐりっと創業祭に出店しました!

6/3(土)4(日)のあぐりっと創業祭に出店しました!風が強く、二日目は初めてワゴン車での販売を試みましたが、多くのお客様に足を運んでいただきました。ありがとうございました!

※のぎくでは、「あぐりっと」「道の駅かくだ」「つどいの場アンテナショップ憩」の3か所で自主製品を委託販売しております。ぜひお立ち寄りください。



〈指定管理者〉
社会福祉法人 角田市社会福祉協議会
角田市障害者就労支援施設ののぎく

〒981-1505
角田市角田字柳町35-2 (角田市総合保健福祉センター北側)
TEL 0224-63-5565 FAX 0224-63-5595
ホームページは社協と角田市役所(福祉)からご覧になれます。



編集・発行

社会福祉法人 角田市社会福祉協議会・かくだボランティアセンター

〒981-1505 角田市角田字柳町35-1 (角田市総合保健福祉センター内)

電話 0224-63-0055 FAX 0224-61-2282

Eメール: info@kakuda-shakyo.jp ホームページアドレス: https://kakuda-shakyo.net/